

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒160-0023  
 住 所 東京都新宿区西新宿八丁目5番1号  
 氏 名 有限会社キューブ川崎インベストメント 印  
 取締役 中澤 真二  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	有限会社キューブ川崎インベストメント		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区日進町1-14		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	貸事務所業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,455	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	管理二課
		所在地	川崎市川崎区日進町1-14
		電話番号	044-221-0309
		FAX番号	044-221-0292
		メールアドレス	0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～平成24年度 (報告年度 24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策結果報告

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

#### (1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

##### ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,377 t-CO <sub>2</sub> (調) 2,682	(実) 3,361 t-CO <sub>2</sub> (調) 2,669	(実) 2,514 t-CO <sub>2</sub> (調) 1,997	(実) 2,428 t-CO <sub>2</sub> (調) 1,928	(実) 3,262 t-CO <sub>2</sub> (調) 2,591
削減率		(実) 0.5 % (調) 0.5	(実) 25.6 % (調) 25.5	(実) 28.1 % (調) 28.1	(実) 3.4 % (調) 3.4

##### イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値		0	0		
削減率		%	%	%	%

##### ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	基準年度からテナント稼働率が上昇し、また昨年は一昨年より夏場の平均気温が2~3℃高く、空調負荷が増大したが、各種省エネ施策が奏功し排出量は減少した。
第2年度	震災による緊急節電要請を受け、テナント専有部および共用部において、照明設備の間引き、空調設備の温度管理、稼働時間の見直しなど運用改善による省エネルギー対策が奏功し、大幅な排出量削減となった。
第3年度	震災後の節電の取組みを維持できた結果、今年度も前年度比約2.5%の省エネを図ることができた。第1期計画期間では、施設全体における運用改善を実施し目標を大幅に上回る成果を得た。

#### (2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推進体制の整備・外部機関の利用</li> <li>・ 空気調和の管理・ヒートポンプの導入</li> <li>・ 変圧器等の適正管理・照明設備の運用管理</li> <li>・ 給湯設備の効率管理・経年劣化等の点検</li> <li>・ 熱源機器の更新</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共用部照明の間引き、不要照明の消灯</li> <li>・ 冷暖房の設定温度調整</li> </ul>
	第2年度	<p>◎空気調和の管理 冷暖房設定温度、運転時間の見直し等による空調負荷の低減。</p> <p>◎照明設備の運用管理 不要な箇所の消灯や間引き点灯。</p> <p>上記2点を重点対策として実施。</p>
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冷暖房設定温度、運転時間の見直しによる空調負荷の低減</li> <li>・ 間引き点灯、不要な照明の消灯</li> </ul> <p>第1期計画期間では、施設全体における運用改善を実施し目標を大幅に上回る成果を得た。</p>
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	記載事項なし
第1年度	記載事項なし
第2年度	記載事項なし
第3年度	記載事項なし

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	記載事項なし
第1年度	記載事項なし
第2年度	記載事項なし
第3年度	記載事項なし

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	2,695	t-CO <sub>2</sub>
(調)	2,690	

(2) 事業所等単位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
キューブ川崎ビル	川崎市川崎区日進町1-14	6911	貸事務所業	2,695 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--